

Close Up

クローズアップ 交通教育センター

第1回レインボーインストラクター競技大会開催 インストラクターの安全運転技術の向上と底上げをめざす

(株)ホンダレインボーモーターズスクール(本社:埼玉県和光市)は和光、埼玉、浜名湖、福岡、熊本の5ヵ所で交通教育センターを運営している。各センターが実施する企業・団体向けの安全運転研修や個人向けのバイク・クルマのスクールで指導を担当しているのがインストラクターだ。このインストラクターの安全運転技術の向上と均質化を図ることを目的に、同社は昨年11月29日と30日の2日間にわたり「第1回レインボーインストラクター競技大会(以下、イントラ大会)」を交通教育センターレインボー浜名湖(以下、レインボー浜名湖)で開催した。

若いインストラクターの成長を促すために

今回のイントラ大会を企画した(株)ホンダレインボーモーターズスクール総務部次長泉聡一さんは、その背景を次のように説明する。「2019年まではHondaが主催する『セーフティジャパンインストラクター競技大会』がありましたが、コロナ禍の影響によって2020年以降は中止となっています。私がインストラクターだった時、この大会に選手や審判として参加していました。団体戦もあるので好成績を残そうと、若い頃は先輩からの手ほどきを受けますが、キャリアを積んでいくと、逆に自分が後輩を指導するようになります。私自身、練習への取り組み方やチームワークの醸成について学べ、仕事に対するモチベーションも上がりました。このような場を今の若いインストラクターに提供したいと思い、提案しました」。

今回はレインボー和光、埼玉、浜名湖、福岡、熊本から計14名が選手として参加した。イントラ大会に向け、各センターでは事前に予選会を実施。予選会で上位のインストラクターが出場選手となっている。さらに、レジェンドクラスとして2名のインストラクターも加わった。これには技術伝承の意図があると泉さんはいふ。「二人はトップクラスの技術を持つスーパーインストラクターです。練習とは違う競技会ならではの走りを見ることで学ぶ機会になると考えました。そして、同じ土俵で競うことによって、二人は自分たちが乗り越えるべき存在だと認識してほしいと思っています」。

インストラクターとしての技術や考え方を継承する機会となる

競技は二輪部門と四輪部門があり、両部門の得点の合計で個人総合の順位が決まる。二輪部門は8の字、パイロンスラローム、コーススラローム、一本橋の4種目、四輪部門はフィギア(車両感覚、車両誘導技術を競う)、コーススラロームの2種目。センター総合はセンターごとのインストラクターの平均得点で順位が決定される。

イントラ大会は誰でも無料で観覧できるようになっている。「普段のスクールでは見ることができない、インストラクターたちの真剣な走りを見たいと考えるからです」と泉さんは明かす。すべての競技が終わった後、出場選手全員によるデモンストレーション走行が行われ、集まった観客から拍手が送られた。個人総合で第1位に輝いたのは中村泰宏さん。その中村さんが所属するレインボー浜名湖もセンター総合の第1位となった。「個人よりもセンターの1位になったことをうれしく思います」と、中村さんは喜びを語る。「同じセンターの後輩(2名)が私のノウハウを聞いて練習に活かしたり、『一緒にがんばりましょう』と盛り上げてくれました。後輩の成長が、この結果につながっています。技術や考え方の継承は『人から人へ』受け渡すことの大切さをあらためて感じました」。

レジェンドクラスに出場した鈴木隆司さん(レインボー埼玉)と下浦紀世人さん(レインボー熊本)は次のように話す。「若い人が成長するためのきっかけや刺激を与え



二輪部門 一本橋



四輪部門 フィギア



四輪部門 コーススラローム



二輪部門 パイロンスラローム



二輪部門 コーススラローム



出場選手全員によるデモンストレーション走行



個人総合第1位の表彰を受ける中村泰宏さん

たいと思い、競技に取り組みました(鈴木さん)。「いつまでも私たちがトップではないけません。若い人には、これを機にどんどん活躍してほしいと期待しています(下浦さん)。「一緒に競い合っ、若いインストラクターの成長を実感できました」と二人は口をそろえた。

なお、この大会競技記録を活用し、ライダー・ドライバーに向け安全アドバイスとなる動画を制作中。「それぞれ日頃の運転で何に気をつけているか?」を競技内容からインストラクターがアドバイスするもので、近日中に、HondaのYouTubeチャンネルにて配信を予定している。

Close Up

クローズアップ Hondaの活動

「安全なソロツーリングを続けるために」 ウェビナーを活用したライダーへの啓発

昨年6月から11月にかけて「安全なソロツーリングを続けるために」をテーマに全4回にわたるウェビナー(ウェブによるセミナー)を開催。昨今、交通死亡事故数、死傷者数ともに緩やかな減少傾向がみられるなか、40~60代のいわゆるリターンライダー層は増加傾向にある。Hondaでは、「継続した安全行動のためには『事故はなぜ起きるのか?』『起こさないためにはどうすればいいのか?』に自ら気づき、考え、

行動することが大切だと考えている。その機会を一人でも多くの方々に届けたいという想いでウェビナーを企画した。全4回のウェビナーは、交通コメントターの西村直人さんをファシリテーターに迎え、Honda交通教育センターのインストラクターによるリレー形式で、各回テーマを設けながら実施。HondaのYouTubeチャンネルのアーカイブ(QRコード参照)で視聴することができる。

●ウェビナーの内容

第1回「走行準備と取り回し」 交通教育センターもてぎ 鈴木正司インストラクター	ウェアやプロテクターなどの必要な装備の選び方や、発進時、停車時の転倒を防ぐバイクの取り回しを解説
第2回「曲がる」 交通教育センターレインボー浜名湖 中村泰宏インストラクター	スポーツ、オフロード、スクーターなどバイクのタイプごとにコーナリングの際の注意点を解説
第3回「止まる」 鈴鹿サーキット交通教育センター 出原大輔インストラクター	止まる時、曲がる時、速度を調整する時、それぞれのブレーキの使い方を解説
第4回「実践編」 交通教育センターレインボー熊本 下浦紀世人インストラクター	実際にソロツーリングに行った際に注意すべきポイントを解説



HondaのYouTubeチャンネルで
アーカイブを視聴可能

